平成 25 年 11 月 1 日

各　　位

会 社 名　オ ー ナ ン バ 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　遠 藤 誠 治
（コード番号　５８１６　東証第二部）
問合せ先　取締役管理統括部長　中 村 孝 一
（TEL．０６－６９７６―６１０１）

新中期経営計画「ＰＲＯＧＲＥＳＳ　２０１６」について

当社は、この度、来年度（２０１４年度）を初年度として２０１６年度までの３ヶ年の新中期経営計画「ＰＲＯＧＲＥＳＳ　２０１６」を策定いたしました。現在、最終年度が進行中の中期経営計画「ＳＴＥＰ　ＵＰ　２０１３」の反省も踏まえ、新たな中期経営計画についてお知らせいたします。

記

１．現計画「ＳＴＥＰ　ＵＰ　２０１３」の到達点

現在進行中の中期経営計画「ＳＴＥＰ ＵＰ ２０１３」は、２０１１年度から今年度（２０１３年度）までを対象とし、２０１３年度売上高４２０億円、営業利益２７億円、営業利益率6.4%を目標としてスタートいたしました。

初年度に発生した東日本大震災以降、厳しい経営環境が続き、当初の計画数値は未達となる見通しであります。

一方、「ＳＴＥＰ　ＵＰ　２０１３」で掲げた①事業の多角化の推進　②拠点政策に於ける選択と集中　③戦略的提携の推進　④継続的な経営効率の追求につきましては積極的に推進し、一定の成果を上げております。

尚、今年度の業績予想は売上高３９０億円、営業利益１７億円、営業利益率4.4%の見通しであります。

２．新中期経営計画「ＰＲＯＧＲＥＳＳ　２０１６」における経営基本戦略

「我々は常に革新を起し、特徴ある価値の創造により世界に貢献する」という当社の経営理念のもと、グローバルな視点で、成長分野での事業領域拡大と当社製品の販売強化を図ってまいります。

そのために「ＳＴＥＰ　ＵＰ　２０１３」で推進した①～④の布石の軸をぶらさず、グローバル体制のもと更なる生産体制の整備、構造改革、コストダウンを実行し、確かな成長軌道に乗せてまいります。

１）成長戦略

①新エネルギー関連分野での事業拡大

②従来の民生機器に加え、産業用ワイヤーハーネスのグローバル販売の強化

③グループの総合力を活かした新製品開発・新市場開拓の強化と車載分野の事業拡充

２）生産戦略

①グローバルでの最適地生産の推進

②トータルコストの削減：

Ａ）生産効率の向上　Ｂ）品質至上の徹底　Ｃ）材料の現地調達化の推進

３）経営体質強化

①キャッシュフローの改善

②人材育成の推進

３．経営指標（目標）

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	（参考） 2013 年度見込
売上高（億円）	395	400	420	390
営業利益（億円）	20.0	19.0	23.0	17.0
営業利益率（％）	5.1	4.8	5.5	4.4
ＲＯＥ（％）	8.0	6.6	8.0	7.0
１株当り配当（円）	10	10	12	10

（注）数値算定の前提：為替レート　１ＵＳ＄＝１００円

以　上

新中期経営計画の概要

【 PROGRESS　2016 】

2013年11月1日

オーナンバ株式会社

PROGRESS　2016

当社経営理念のもと、2016年度に向かって
グローバルな視点で成長分野での事業領域
拡大と当社製品の販売強化を着実に実行し
オーナンバグループの発展を目指す

新中期経営計画の基本戦略

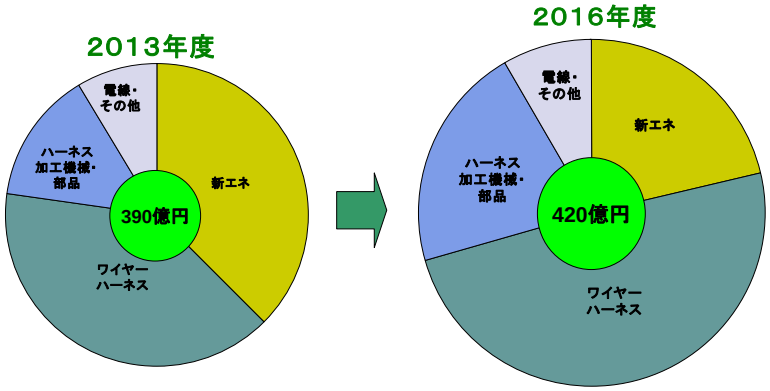
1. 成長戦略
   - ・新エネルギー関連分野での事業拡大
   - ・従来の民生機器に加え、産業用ワイヤーハーネスのグローバル販売の強化
   - ・グループの総合力を活かした、新製品開発、新市場開拓の強化と車載分野の事業拡充
2. 生産戦略
   - ・グローバルでの最適地生産の推進
   - ・トータルコストの削減：
     A）生産効率の向上　B）品質至上の徹底　C）材料現地調達化の推進
3. 経営体質強化
   - ・キャッシュフローの改善
   - ・人材育成の推進

成長分野拡大への施策

新中期経営計画は“新エネルギー、産業用ワイヤーハーネス、ハーネス用加工機械・部品“を次の成長分野と位置づけ、事業領域の拡大を目指す

1. 新エネルギー
   - ・太陽光発電配線ユニット/監視システム等で蓄積した技術力を活かし、新エネルギー関連商品・分野への拡大を図る
2. ワイヤー・ハーネス
   - ・民生機器に加え産業機器分野への拡大、車載関連分野への拡充を図る
3. ハーネス加工機械・部品
   - ・開発の更なる強化とグローバル生産拠点の拡充を図る

事業別販売目標



新製品/新市場と販売目標

（百万円）

	2014年度	2015年度	2016年度
新エネ	500	1,000	600
ワイヤーハーネス	1,700	3,350	3,700
ハーネス加工機械・部品	700	1,300	2,200
電線・その他	0	50	100
新製品/新市場販売合計	2,900	5,700	6,600
売上比率	7%	14%	16%

研究開発投資 → 年間３～4億円

設備投資

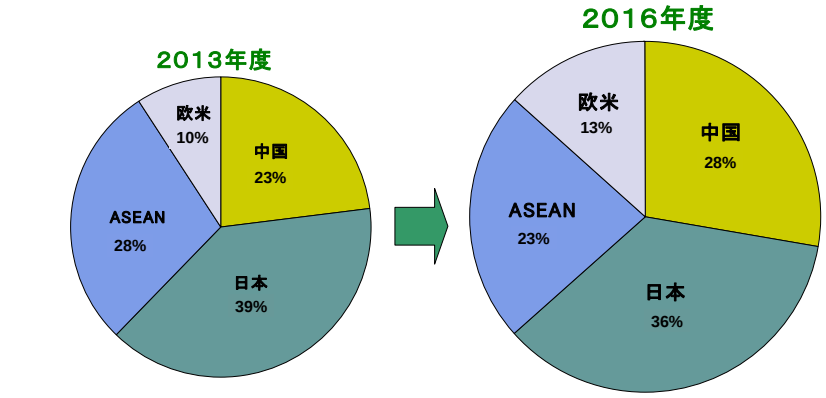
（百万円）

	2014年度	2015年度	2016年度
設備投資	1,300	1,300	1,300

グローバルでの最適地生産推進

コスト競争力強化のため、最適地生産の追及

＜拠点別生産高＞



ASEAN＝インドネシア・マレーシア・タイ・ベトナム・カンボジア

経営体質強化

1.キャッシュフローの改善

◇在庫管理、資金管理の充実

2. 人材育成の充実

新中期経営計画の目標値

	2013年度 見通し		2016年度 目標
売上高	390億円	→	420億円
営業利益	17億円		23億円
営業利益率	4．4%		5．5%
ROE	7．0%		8．0%
1株当り配当	10円		12円

注）為替レート：1US$=100円

本資料の将来予想に関する記述は、経済情勢や社会情勢の変化により、実際の業績と異なる場合があることをご承知おき下さい。